

No. 1604

宇野首相アルシュ・サミットへ

—フランス—

7月13日革命200周年記念式典に35ヶ国首脳の一人として招待された宇野首相。コンコルド広場での華麗なパレードを参観、サミット前の緊張感を和らげていました。

7月14日、革命200周年を記念してつくられたガラスのピラミッドを背に第15回先進国首脳会談（アルシュ・サミット）の開会式が行われミッテラン大統領を始め7人の首脳が勢ぞろいしました。

デファンス地区のアルシュ（新凱旋門）の会議で中国、テロ、人権、東西関係の政治四宣言を採択。宇野首相も累積債務問題で日本が資金援助など積極的支援を公約し世界に貢献する日本を強調しました。

霊前に国民栄誉賞

—ひばりさん本葬—

7月6日首相官邸で6月24日52歳で亡くなった美空ひばりさんへの国民栄誉賞表彰式が行われました。「あなたは数多くの歌謡曲によって人生の哀歌をうたい上げ国民の心に夢と希望と愛を与えました」と宇野首相から表彰状が遺族の加藤和也氏に贈られひばりさんの功績をたたえました。国民栄誉賞はひばりさんで7人目、女性としては初めての受賞となりました。7月22日東京・青山の青山葬儀所での本葬には4万人のファンが集まり「歌の女王」と最後の別れを惜しんでいました。

自民惨敗、宇野首相退陣

—参院選—

7月23日投票が行われた第15回参議員選挙は自民党が惨敗、社会党の大躍進となりました。当選の赤いバラで埋まる社会党本部。土井委員長も政権が一步近づき緊張した様子ですが改選22議席を倍増して、自民党を上回る当選者を出したとあって自然に喜びがあふれて来るようです。

一方、赤いバラも積まれたまま、ダルマも片目のままの自民党本部。改選69議席が半減する事態も予想される気配に、インタビューに答える橋本幹事長の表情も沈みがち。結局、自民党は33議席を失いました。

この自民惨敗をうけて7月24日午前、宇野首相は急遽記者会見。「リクルート、消費税、農政批判と困難な事態が継続して政策論争に至らなかったのが残念。しかし国民の審判は下りました。敗戦の一切の責任は私にあります。よって総理総裁を辞任いたします」と退陣表明。

首相の座についてわずか2ヶ月足らずで退陣を余儀無くされた宇野首相。保守・革新共に激動の季節を迎えたようです。